



2024年8月31日クラーク横浜女子ラグビー部体験会報告

三菱重工相模原ダイナボアーズ岩村主将・石田選手が参加！ クラーク横浜女子ラグビー部の実態に迫る。



2024年8月31日9:00～12:00、クラーク横浜女子ラグビー部の体験会が行われた。台風10号の影響を受けながらも奇跡的に晴れ間が覗く、広大な天然芝のグラウンド、そして日本最高峰リーグのチームキャプテン 岩村昂太選手と日本代表に選ばれた石田一貴選手がいる。さらに石井GMも参加。なんと贅沢な環境だろうか・・・この1日をレポートする。

報告者：広報委員会 鈴木 邦佳

通常の高校と変わらぬ登校型の学校である。

通信制と聞くと自宅のパソコンで学習するのかな？と思いきや、浮かべる人も少なくないだろう。しかしクラーク国際高校 横浜キャンパスの学習スタイルはそれとは違う。平日は制服を着て通学し、1学年6クラスで約180人の友達もいる。午前中は英語・数学・国語などの一般科目教科を受講し、午後から選択科目であるラグビーを学んでいる。具体的にはグラウンドで練習したり、筋力トレーニング、自分たちの練習や試合を映像分析をしている。ある選手は自分のパスキャッチのビデオを見て「客観的に見れてどこが悪いのか？丁寧に指導してくれる。だから着実に成長できる」と語る。

神奈川の強豪女子ラグビー部に追いつきたい。

今年で3年目を迎えたクラーク横浜女子ラグビー部。3年生1名・2年生3名・1年生1名の計5名と小規模であるが「選手の成長は目を見張るものがある」と井口ヘッドコーチは語る。第1期生の田中彩理(3年)キャプテンは入部当初のモチベーションの変化をこう語る「1年目はYOKOHAMA TKMさんとの合同練習で自分がその練習についていけないために努力し、2・3年生となって後輩ができてからは、どうしたらチーム力を上げられるか？神奈川の強豪校に追いつくにはどうしたらいいか？」をモチベーションとして活動しています。」

トップ選手の言葉の力！手本が身近にいる強み



岩村昂太選手と石田一貴選手の言葉が選手に魔法をかける。

「本日の体験会で岩村選手が66日間意識してやり続ければ無意識にできるようになる」と女子選手たちへ伝えるシーンがありました。普段やっている基礎練習のパスのフォロースルーやボールをもらう前に相手の位置を意識することの大切さを深く選手たちは認識することができました。これがうちのチームの強みだと思います」と井口ヘッドコーチ。

ラグビー未経験者でも確実に上達する！

「クラーク国際女子ラグビー部では新入部員をお待ちしています。ラグビーをとことん探求するなら申し分ない環境ですし、全くの未経験者でも映像分析で現実とのギャップを埋める指導をしますので絶対うまくいきます。」と井口ヘッドコーチ。(強くないわけがないと感じました。鈴木邦佳)